

洋上風力発電用アクセス船（SWATH型） CTV-SSC30

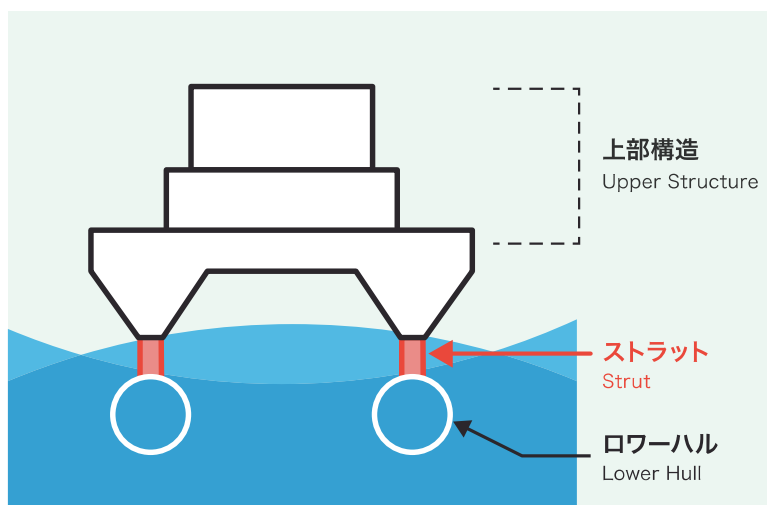
MITSUI E&S
三井E&S造船株式会社



半没水型双胴船 SSC（Semi-Submerged Catamaran）は、水面下の没水部と水面上の上部構造とを流線形の細長いストラットで結合したユニークな形状の双胴船です。波浪中での優れた動揺性能を持ち、CTV（洋上風力発電用アクセス船）に適しています。

洋上風力発電用アクセス船（SWATH型） CTV-SSC30

船 型	半没水型双胴船（SSC, SWATH型）
材 質	アルミニウム合金
全 長	約 29 m
型 幅	約 11 m
搭 乗 人 数	12 名（風車メンテナンス要員） * 将来的に 24 名まで拡張可能



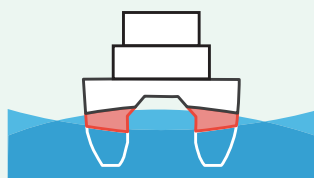
CG イメージは **JRC 日本無線** が開発中のアクセス装置を搭載
本装置は 30mクラスの船型で搭載可能

三井E&S造船は“SSC型CTV”を提供することで、「洋上風力発電の稼働率向上」に貢献します。

SSC の特徴

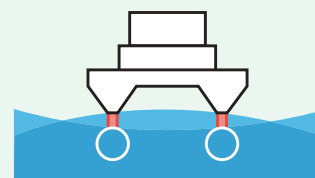
双胴船 / Catamaran

水線面積が大きく
波浪の影響を受けやすい



SSC (SWATH型)

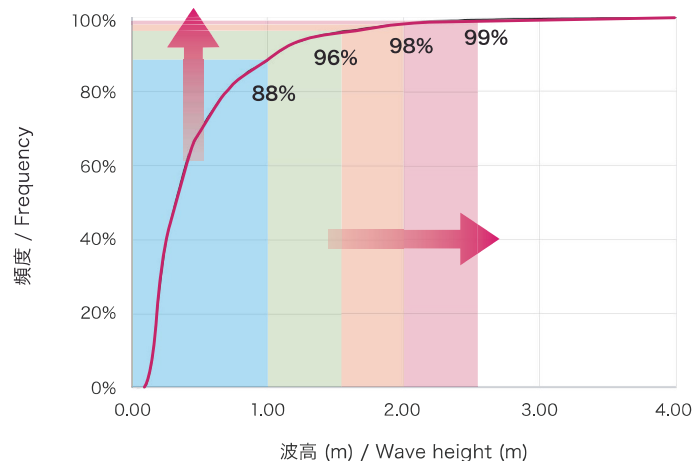
水線面積が小さく
波浪の影響を受けにくい



季節による波高の違い

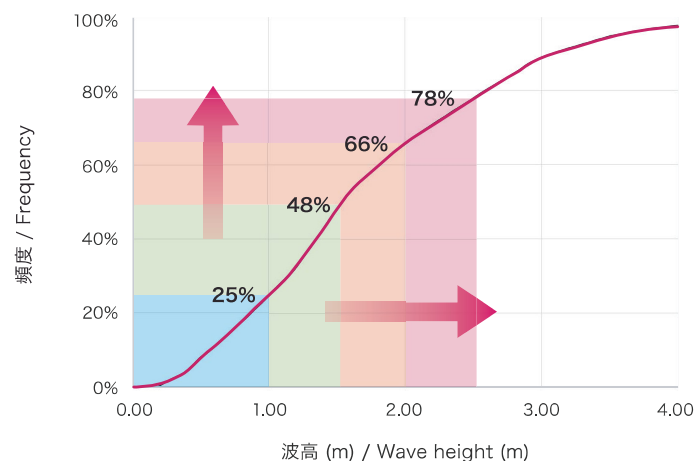
累積波高頻度 [6 - 8 月, 夏季, 秋田]

Accumulated wave height frequency (June-Aug., Summer, Akita)



累積波高頻度 [12 - 2 月, 冬季, 秋田]

Accumulated wave height frequency (Dec.-Feb., Winter, Akita)



※ナウファス波浪観測データ（2019 年集計）を元に作成。本稿で用いた波高分布データは、国土交通省港湾局によって観測され、港湾空港技術研究所で処理されたものである。

日本海側の冬期の厳しい海象では、SSC型CTVの波浪中での優れた動揺性能がアクセス可能日数増加に大きく寄与



旧三井造船（現三井 E&S 造船）の豊富な設計 / 主な建造実績



全長約 20m クラス

視察艇「ベイスター」(JG, 限定沿海)



全長約 30m クラス

多目的交通船「コスモス」(JG, 沿海)



全長約 40m クラス

高速旅客船「シーガル 2」(JG, 限定沿海)

問い合わせ

MITSUI E&S

三井E&S造船株式会社

〒135-0091 東京都港区台場2丁目3番2号 台場フロンティアビル13階 / TEL [営業部] 03-6426-0243

三井 E&S 造船 HP

